

令和3年度 事業報告

施設名 幼保連携型認定こども園 はたつかこども園

事業年度	定員				児童数(年平均)				充足率(%)			延長保育利用人数(延人数)		園庭開放他(延人数)
	1号	2,3号	9人	人	1号	2,3号	81人	人	1号	2,3号	77%	30分延長	1時間延長	
平成29年度	99	人	1号	9人	101	人	1号	81人	103	1号	77%	158人	人	265人
			2,3号	90人			2,3号	1131人		2,3号	106%			
平成30年度	99	人	1号	9人	113	人	1号	118人	114	1号	111%	149人	人	208人
			2,3号	90人			2,3号	1232人		2,3号	114%			
令和元年度	99	人	1号	9人	112	人	1号	122人	113	1号	122%	163人	人	159人
			2,3号	90人			2,3号	1214人		2,3号	113%			
令和2年度	99	人	1号	9人	114	人	1号	124人	115	1号	122%	192人	人	0人
			2,3号	90人			2,3号	1244人		2,3号	116%			
令和3年度	135	人	1号	15人	124	人	1号	144人	125	1号	133%	135人	人	111人
			2,3号	120人			2,3号	1342人		2,3号	124%			

法人基本方針	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども、保護者、職員が安心して利用できる体制づくりを図る。</li> <li>子ども一人一人が、安心できる居場所が確保できるように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登降園時、玄関や周辺見回り</li> <li>ヒヤリマップ作成、保育室等に掲示と周知。</li> <li>環境整備と職員間での周知、実践(月案、幼児、乳児会議)</li> <li>権利擁護の園内研修、チェックリスト実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝玄関での検温、見回り実施。</li> <li>各所にヒヤリマップ掲示可視化。</li> <li>虐待チェックリスト(年3回)</li> <li>権利擁護チェックシート(年1回)</li> <li>権利擁護チェックシートを用いて正規、非常勤職員意識の見直し。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>玄関での検温確認は、コロナ禍への注意喚起へとつながっている。</li> <li>新園舎でリスクはどこかを可視化し示すことで職員や保護者へ意識の高める機会となっている。</li> <li>虐待チェックシートは複数で行うことで見落としのないようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍も3年目となるが、検温確認を継続して安心安全に対応する。</li> <li>階段の使用については、油断すると事故に繋がるので、昇り降りの仕方人数配置等配慮して行っていく。</li> <li>虐待の傾向が見られた時は、早急に関係機関と連携を取るようになる。</li> </ul>
サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事を通して保護者へ子どもの育ちなど共有できるようにする。</li> <li>保育の質の向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年齢に合わせた保護者参加型、フェスティバル</li> <li>事例会議、マニュアル整備</li> <li>保護者アンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0、1歳児保育参加、3、4、5歳児フェスティバルの実施。</li> <li>保護者アンケートにおいて、保護者の意見を聞きながら、園の思いを伝え共に子どもの権利を守る共育で。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度保育参加を実施できなかったため、園での様子を見ていただき保護者の方には喜んでいただいた。</li> <li>アンケートには、外遊びが少なくなったのではないかと、また職員との距離が遠くなったと感じる意見があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2歳児クラスが実施できなかったため4年度は早急に保育参加を計画し、園への理解へと繋げる。</li> <li>新園舎になり、職員配置や朝夕の園庭遊びなどの工夫は随時行っていく。</li> <li>送迎の保護者に対しては、プラス一言を心掛けていく。</li> </ul>
地域との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の子育て世代に向けた交流の場を提供する。</li> <li>保護者や地域と共有ができるよう掲示板を通して情報発信を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おやじの会(年2回)</li> <li>保護者会と協賛バザー開催</li> <li>園庭開放(週1回)</li> <li>体験型保育おひさまルーム(年6回)</li> <li>ほっとかへんネット参画の地域活動及び研修等の参加</li> <li>夏まつり「集まれスイーツホーム」で卒園生招待</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援こども園体験型おひさまルームの実施(年6回、6組親子登録)</li> <li>園庭開放実施。(緊急事態宣言期間以外)</li> <li>見学は人数調整を行ない随時受け入れ。</li> <li>ほっとかへん事業 園ツアー実施</li> <li>小学校卒業生、親子で来園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一年ぶりのおひさまルームだったので、募集開始後すぐに定員を満たすことができた。見学者も多く園児獲得につながった。</li> <li>夏まつりは実施できなかったが、小学校卒業報告を保護者と共に16名中14名の卒園児が集まり、園で過ごした時間が小学校で活かされていると話していただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新園舎となり、地域交流室で受け入れることができ、空間と人数の配慮を重ねて、地域の方々の居場所づくりに努めていきたい。</li> <li>園で好きな事をじっくりする時間や場所があったことや認めもらった経験が、小学校生活にも繋がっているとのことだった。園での実践を振り返り、成長へ繋げる。</li> </ul>
人材育成と確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>風通しのよい関係づくりを図り、意見が言いやすい環境を整える。</li> <li>職員がやりたいと思うことを実行できるようサポートする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方委員会を中心に、職員同士の意見交換(30分会議)の開催</li> <li>キャリアアップ研修や園内研修を通してスキルを高める場を提供</li> <li>保育内容等実践したいことなど、計画書等で把握、意見を聞き一緒に考えサポートする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事への向き合い方、行事の取り組み方についてその都度説明しながら実践、確認を継続。</li> <li>会議のみでなく、少しの時間で気になる子やクラス運営について話をする時間を持つ。</li> <li>実習受入大学の就職説明会へ参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年目の職員には、主幹保育教諭と共に、仕事をする上での戸惑いや悩みについて話す機会を持つ事ができた。行事も初めてなのでどのように計画実行していくかを具体的に確認していった。</li> <li>卒業した大学に職員が出向き就職の説明を行うことで、学生からも関心が高く、実際に就職に繋がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年目、2年目の職員が18名中9名となるので、先輩職員・主幹保育教諭と共に業務全般において補佐相談確認を行っていく。(月2回 15分トーク)</li> <li>就職する学生にとって、同じ学校の先輩がいることは心強いようなので、このような機会には参加し学生獲得に繋げていく。</li> </ul>